



■ 名 前 (ふりがな)	稲葉 修菜
■ グループ名	
■ 学校名	瀬戸田中学校
■ 学 年	中 1
■ 年 齢	13才
■ お手伝いしていただいた方の名前	中田雄三さん

■ レポートした場所	高根
■ レポートの題名	高根の海砂
■ 内 容	<p>私の住んでいる所は、広島県豊田郡瀬戸田町高根という所です。</p> <p>私は毎年夏になると高根島の海で泳ぎ、海の生き物を捕まえたりしています。最近私はいつも毎年泳いでいる場所の砂がだんだん増え砂ガニが増えてきているのでは？と感じていました。私は不思議に思い家族に聞いてみました。すると驚くような事がわかったのです。お父さんが子供だった頃は、スナメリクジラやあさり、たこなど海には沢山の生き物がいたそうです。でも 30 年くらい前から海砂を採るようになって海の生き物がだんだん少なくなってきた話を聞きました。そしてその海砂が思いもかけないような場所で使われている事がわかりました。私はこの海砂の事をもっと知りたくなったので、家族や地域の人達に聞き資料などを集めて詳しく調べてみることにしました。</p> <p>まず第一に調べたことは、どれくらいの砂が採られその砂を何のために使ったか？です。資料 1、2 を比べてみてもわかるように 1974 年当時は 3、4メートルの深度だった海底砂場が資料 2 の 2000 年頃では 40メートルの深さになっています。特に高根島のまわりが深くなっています。いったいどれくらいの量の砂が採られたのか、はっきりとした量は、調べる事が出来ませんでした。色々な所の砂が減ってしまった事はこの資料からよく分かると思います。ではこんなにも沢山の海砂を何に使ったのでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、山陽新幹線のトンネルのコンクリート 2、関西空港への埋め立て 3、須磨、明石んどの人工海岸の埋め立て

などに使われている事が分かりました。さらに詳しく調べてみると、もっと驚くような事が分かりました。それはこの海砂を使ったことで起きたさまざまな問題です。例えば、海砂を使ったので鉄がさびてトンネルの壁が落下したり埋め立て地に建てた建築物のひび割れ、須磨、明石の人工海岸で、小学生の女の子が人工海岸が陥没して亡くなってしまった事などさまざまな問題が分かりました。私は私の住んでいる高根島の海砂で人工の物を沢山作りそれで事故が起きていた事を知り、とてもショックでした。

次に調べた事は、では今なぜ砂や砂ガニなどが増えてきたか？です。それは、きっと高根島付近の海砂採取をやめて4年くらいになります。だから生き物や砂がだんだん戻ってきているのではないのでしょうか・・・。

新幹線が開通し空港、埋め立て地も増え橋もかかり、私達人間の生活はとても便利になりました。でも、人間だけが便利になってそれでよいのでしょうか。

今現在も香川県、愛媛県などでは、海砂利採取が続いているという新聞記事を夏休み中に読みました。私はちょうどこの事を調べていたので早くやめればいいのに。と思いました。

お父さんが子供の頃高根島から見た海の景色（写真1）は、今私が見る景色とは、多々羅大橋がかかったくらいであまりかわりないと思いますが、すぐ見る事が出来ない海の底ではこの30年の間で、ものすごい量の砂が減り生き物が減ってしまいました。自然が壊れた海底は海砂利採取をやめればすぐ元通りに戻るのでしょうか？